

2021 年度ルール改正 確認問題

所属陸協（ ） 陸協 氏名（ ）

1 【出発係】

800mを超えるレースではスタートラインの後方約 (①) mのところに並べる。

2 【同時申込】

競技者が同時にトラック競技とフィールド競技あるいは2種目以上のフィールド競技に出場している場合には、審判長は(②) ラウンドに一度、走高跳および棒高跳では(③) に一度、競技会に先立って決めた順序によらないで、その試技を許すことができる。もし、競技者がその後の試技を行うべき順序の際に不在の時、その試技時間が過ぎれば、(④) 扱いとなる。

3 【アスリートビブス】〔国内〕

アスリートビブス(ビブス)の大きさは、横24cm×縦(⑤) cm以内とし、個人を識別する文字や数字等の大きさは縦最低6cm～最高10cmとする。

4 【助力】

この規則の目的から、下記の場合は助力とみなさず許可する。

(⑥) や類似の器具によるレースの進行時間や関連する記録の提示。

5 【障害物競走】

次のことをすると失格となる。

水濠のある場所で、水濠以外の (⑦) を踏んだ時。

※水濠の右側・左側を問わない。

6 【水平種目の無効試技】

競技者が踏切の際、跳躍しないで走り抜けたり、あるいは跳躍の動きの中で、踏切足または踏切足の靴のどこかが踏切板または地面から離れる前に踏切線の (⑧) より前に出た時。※〔国際〕2021.11.1～〔国内〕2022.4.1～ 適用

7 【靴底の厚さの規定】

種 目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (三段跳除く)	<u>(⑨) mm</u>	全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない
三段跳	25 mm	
トラック種目 (ハードル種目を含み 800m未満の種目)	<u>(⑩) mm</u>	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする
トラック種目 (障害物競走を含み 800m以上の種目)	<u>(⑪) mm</u>	
クロスカントリー	25 mm	
道路競技	<u>(⑫) mm</u>	
マウンテンレースとトレイルレース	制限なし	